



▲「認知症の人は話の聞き取りが難しくなるので、ゆっくりと話すことが大事」と話す川畑さん

認知症の理解を深めるために

認知症を考えるつどい

8月31日、「天草市認知症を考えるつどい2014」が天草市民センターで開催され、約700人が来場しました。島子小学校6年生とあまくさ♡認知症を地域で支える会による寸劇を交えた体験発表や、医療法人博光会みゆきの里（熊本市）の認知症対策室・川畑智室長が「認知症を知る～自分のため、家族のため、地域のため～」と題して講演。認知症の正しい理解や予防などについて話され、来場者は熱心に聞いていました。

美しい故郷を残すために

ロード・クリーン・ボランティア優良団体表彰

倉岳町浦の名桐地区が8月21日、県の「ロード・クリーン・ボランティア優良団体表彰」を受けました。県が管理する道路の美化活動を3年以上続けている団体や人を毎年表彰しているもの。同地区は20年以上にわたり、区内を通る県道の清掃や除草・花の植栽などを定期的に行っています。環境美化に多大な貢献をしたことが高く評価されました。受賞した同地区代表の山道和喜信さんは、「美しい故郷を子どもたちに残していきたいですね」と話していました。



▲表彰を受けられた名桐地区の皆さん

泥水のしぶきを上げながら熱戦を展開

しんわどろリンピック

8月31日、「選手が飛ばば泥が飛ぶ！歓声が飛ぶ」をキャッチフレーズに、小宮地地区振興会主催の「第9回しんわどろリンピック」が、新和小学校体育館横の水田で行われました。ミニバレーや綱引きなどが実施され、市内各地から18チーム・100人が参加。ミニバレーでは、参加者がボールをつなごうと必死になって追いかけて、泥水の中に飛び込むなど大いに盛り上がっていました。



▲ミニバレーをする参加者

帰省客などでにぎわう夏祭り

上津浦夏祭り

8月14日、「上津浦夏祭り」が有明町の上津浦グラウンドで開かれ、帰省客や地元住民など約500人が来場しました。同地区振興会が毎年開催しているもので、今回で12回目。浦和保育所の園児30人による盆踊りや地元出身の演歌歌手・天草二郎さんの歌謡ショーが行われたほか、わたがしやかき氷などの屋台が並び、会場はにぎわいを見せていました。来場した帰省客は、「地元の懐かしい雰囲気を楽しめました」と話していました。



▲盆踊りを踊る園児たち



▲演奏のようす

美しい音色で来場者を魅了

古楽器演奏会

8月24日、河浦町の天草コレジヨ館に復元・展示されている古楽器を使った、「古楽器演奏会」が同館で開催され、42人が来場しました。地元住民を中心に結成された演奏グループ「コレジヨの仲間」が、約400年前に作られた曲や当時ヨーロッパ各地で人気があった曲など4曲を演奏。来場者は、美しい音色に聞き入っていました。

たくさん魚が捕れたよ！

小学生が地引き網を体験

8月24日、御所浦小学校の児童78人が嵐口地区の海岸で地引き網を体験しました。地元の住民で組織する「嵐口地区海を守る会」が、伝統漁法を通じて魚介類に関心を持ってもらおうと初めて行ったもの。児童たちは、海に入れられた網を掛け声をかけながら手繰り寄せ、引き上げた網の中にかかったタイやタコ、ハモなどを興味津々にのぞき込んでいました。このほか、御所浦町漁村センターで天草おさかなカルタ取りやお魚料理教室も行われました。



▲網の中のをのぞき込む児童たち